

東京都立淵江高等学校 令和3年度 教科 国語 科目 国語総合（古典） 年間授業計画

教科・科目	国語・国語総合（古典）	単位数	2	対象学年・組	1学年
使用教科書	『国語総合』 （教育出版）	教科担 当者名	（ A組～E組 柴田 ）		
使用教材	「カラー版 新国語便覧」 第一学習社 「国語便覧ワークノート」 第一学習社 「改訂版ピギナーズ古典（古文・漢文）」 尚文出版				

学期	月	予定 時数	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法
1 学 期	4	24	古文 「児のそら寝」 『宇治拾遺物語』	<ul style="list-style-type: none"> ・古典のノートの取り方や、古語辞典の基本的な使用方法を学ぶ。 ・歴史的仮名遣いとその読み方、現代仮名遣いとの違いを学ぶ。 ・50音図の作成といは歌の書写や暗唱テストを実施する。 ・自立語や付属語、用言と体言の小テストを実施する。 ・本文の解釈や文法を学ぶことで、古文の勉強方法を身に付ける。 	知・技・関 音読・ノ ート提出・い ろは歌暗唱 テスト・中 間考査
	6 7		古文 「老僧の水練」 『古今著聞集』	<ul style="list-style-type: none"> ・音読をすることで、歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを学ぶ。 ・古文特有の主語のない現代語訳をする方法として、助詞の用法を学ぶ。 ・品詞の要素として活用と活用形を学び、品詞の小テストを実施し、身に付ける。 	知・技・思 音読・ノ ート提出・品 詞テスト・ 期末考査
2 学 期	9	28	古文 「東下り」 『伊勢物語』	<ul style="list-style-type: none"> ・『伊勢物語』の歴史的背景や作者についての文学史にふれる。 ・音読をすることで、歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを学ぶ。 ・動詞の活用について学習し小テストを実施することで身に付けていく。 ・古語辞典を使用した意味調べと活用表の作成をノートにまとめ、そこから現代語訳ができる基礎的な力を付ける。 	知・技・思 音読・ノ ート提出・動 詞の活用表 テスト・中 間考査
	11 12		古文 「丹波に出雲とい ふ所あり」 『徒然草』	<ul style="list-style-type: none"> ・『徒然草』の歴史的背景や作者についての文学史にふれる。 ・音読をすることで、歴史的仮名遣いと現代仮名遣いの違いを学ばせる。文法学習として、形容詞・形容動詞を学ばせることで、用言の活用を身に付ける。 ・登場人物の会話や行動から、考えや感じ方を知り、この物語の面白さを味わう。 	知・技・思 音読・ノ ート提出・形 容詞・形容 動詞の活用 表テスト・ 期末考査
3 学 期	1	18	漢文 漢文を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の世界を知る。 ・日本語とは異なる漢文の構造や性質を学ぶ。訓読や送り仮名、返り点を履く文に書き、書き下し文ができるようにする。返り点の種類や用法を学ぶ。 	知・技・関 訓読と訓点 テスト
	2		漢文 訓読の基礎	<ul style="list-style-type: none"> ・文中や文末の助字を知り、疑問や断定などの意味を覚える。訓読の際の置き字を学ぶ。再読文字の意味を知り、書き下し文にすることができ、さらに現代語訳も学習する。 	知・技・関 訓読と再読 文字テスト
	3		漢文 「借虎威」	<ul style="list-style-type: none"> ・中国の歴史的背景を学ぶ。漢文のノートの取り方を学び、学習環境を整える。長文の書き下し文ができるようにする。「虎」「狐」に注目し、話の面白さを味わいつつ現代語訳する。 	知・技・思 ノート提 出・学年末 考査

知:知識・理解 技:技能 思:思考・判断・表現 関:関心・意欲・態度